北海道
厚真町
HOKKAIDO ATSUMA TOWN

あつまる つながる まとまる 大いなる田園のまち あつま



広報あつま

ATSUMA TOWN PUBLIC RELATIONS

2026
11
NO.891



広報あつま

ATSUMA TOWN PUBLIC RELATIONS

2026
11
NO.891

2 ひとのうごき
3 あつマルシェ
4－5 令和８年度各会計の予算執行状況
6－8 町からのお知らせ
9－11 まちの話題
12 厚高インフォ／よりみち通信
13 地域おこし協力隊／将来の夢
14－15 保健の掲示板
16 健康情報
17 すくすく教室
おやこDEクッキング
まちのアイドル
子育て支援センター
18 防災のページ
住宅用火災警報器を設置しましょう
19 気象台ノート
歳末たすけあいチャリティーイベント
農業委員会インスタグラム
20 あつま国際雪上３本引き大会
いきいきサポートサロン
こぶしの湯あつま
21 情報ひろば
22 ATSUMA LOVERS

ひとのうごき

人　口　4,237人（－5）
男 2,161人　女 2,076人

世帯数　2,201世帯（+6）

10月31日現在　（　）内は前月比

10月１日～11月２日届出分

※窓口などで、広報紙への掲載について確認できた方を掲載しています。

厚真町公式ＳＮＳ

お知らせや最新情報を発信しています！

広報あつまはインターネットでも！

厚真町ホームページ
トップページ下部のバナーから
広報あつま

Hokkaido ebooks
エリアで探す→胆振→厚真町

COVER 今月の表紙



10月15日、私立宮の森こども園（宮下葉子園長）と町立こども園つみき（井鳥佳織園長）の園児29人が、「クリスマスツリーの森づくり」の植樹を行いました。森は、厚真町と安平町にまたがる三菱マテリアル（株）の社有林です。園児たちは、苗木の成長に願いを込め、アカエゾマツを植えました。



あつマルシェ

風にたなびく「新米」の旗、炭火から漂う胃袋をくすぐる香り――。

秋晴れに恵まれた10月4日、こぶしの湯あつま前のイベント広場で収穫祭「あつマルシェ」（町観光協会主催）が開かれました。キッチンカーなどによる飲食の提供のほか、新米や小豆のすくい取り、カボチャたたきなど、産地ならではの催しが行われ、会場は2800人の来場者でにぎわいました。







体験＆ワークショップ　林業の現場で活躍する馬搬の馬たちの馬そりや、ひき馬が人気を集めました。「ATSUMANOKI96」によるカッティングボード（まな板）作りでは、木材の磨き上げに夫婦で汗を流す人もおり、「taniko leather」のレザークラフト体験では親子で名前入りの小物作りに挑戦する姿が見られました。また、町民グループ「笑屋（わらや）」は、収穫して乾燥させた稲わらを使ったしめ縄づくりなどを行いました。参加者たちは完成したオリジナル作品に目を細めました。





テント＆キッチンカー　キッチンカーや物販用のテントなど32店の出店がありました。厚真漁協青年部のホッキ特別販売では、10個1000円の破格値とあって、朝から長蛇の列ができました。また、買い物袋いっぱいに野菜や加工品などを購入する人、親子で新米を買い求める姿も数多くみられました。







青空ショー　厚真町のダンススクール「Dance Studio Saly」の子どもたちがリズムに合わせて元気いっぱいのステップを披露し、手話コーラス「てのひら」は指先に神経を使って表情豊かに童謡などを発表しました。また、「Pererau'Api」のフラダンスの原型ともいわれるタヒチアンダンスは、ドラムの早いリズムに合わせて全身を使った躍動する踊りを繰り広げました。



令和８年度　各会計の予算執行状況

地方自治法および町条例の規定に基づいて、令和８年度各会計予算の歳入・歳出、町債（地方債）、財産の状況についてお知らせします。

※各項目の合計と総額の相違は、端数処理によるものです。
※９月末現在

問い合わせ　総務課 財政グループ　☎27-2481

一般会計

一般会計は、市町村の財政の基本を示す家計簿といえるもので、税金などの収入を示す「歳入」と、その使い道を示す「歳出」の２つから成り立っています。

歳入	予算現額	収入済額	収入率
町税	16億500万円	8億9,931万円	56.0%
地方譲与税	1億328万円	5,166円	50.0%
地方消費税交付金	1億1,600万円	8,391万円	72.3%
地方交付税	35億7,934万円	21億3,623万円	59.7%
分担金・負担金	2,113万円	63万円	3.0%
使用料・手数料	1億3,590円	6,817万円	50.2%
国庫支出金	22億9,534万円	7,907万円	3.4%
道支出金	7億293万円	1億5,158万円	21.6%
財産収入	8,307万円	2,992万円	36.0%
繰入金	19億5,995万円	0万円	0.0%
繰越金	2億4,310万円	2億4,310万円	100.0%
諸収入	1億8,822万円	3,822万円	20.3%
町債	32億5,620万円	0万円	0.0%
その他	7億8,649万円	1億3,728万円	17.5%
歳入合計	150億7,593万円	39億1,908万円	26.0%

用語の説明

町税
町内の住民や企業などから集められるもの
町民税や固定資産税、軽自動車税、市町村たばこ税

地方交付税
地方公共団体間の財源の不均衡を調整し、一定水準の行政サービスを確保できるよう財源を保障するもの

国庫・道支出金
特定の行政目的を達成するために国や道から町に交付されるもの

町債（地方債）
自治体の借入金でその返済期間が２年以上にわたるもの

歳出	予算現額	支出済額	執行率	使い道
議会費	6,238万円	3,383万円	54.2%	… 議員の報酬、手当
総務費	23億9,343万円	3億3,987万円	14.2%	… 町の一般的な事務、まちづくり
民生費	14億6,211万円	5億5,701万円	38.1%	… 福祉の充実
衛生費	2億5,136万円	1億599万円	42.2%	… 医療の充実・ごみ処理
労働費	2,657万円	1,516万円	57.0%	… 労働者福祉事業
農林水産業費	9億7,474万円	3億5,695万円	36.6%	… 産業振興
商工費	1億7,467万円	7,449万円	42.6%	… 商工振興
土木費	35億6,908万円	6億1,933万円	17.4%	… 道路、河川の整備
消防費	5億9,271万円	2億1,816万円	36.8%	… 消防、災害対策
教育費	25億3,141万円	3億7,334万円	14.7%	… 学校教育・生涯学習の推進
公債費	14億7,474万円	7億2,610万円	49.2%	… 借入金の返済
給与費	10億224万円	4億3,584万円	43.5%	… 職員の給料、手当
諸支出	4億500万円	2億9,045万円	71.7%	… 公営企業会計の出資金・補助金
予備費	1,521万円	0万円	0.0%	… 予備
災害復旧費	1億4,030万円	99万円	0.7%	… 災害復旧
歳出合計	150億7,593万円	41億4,751万円	27.5%	

特別会計

特別会計は、市町村が行っている特別な事業に対して、支出や収入を分かりやすくするために一般会計とは分けて経理するものです。これまでの簡易水道事業特別会計と公共下水道事業特別会計は、公営企業会計のため、厚真町には現在、４つの特別会計があります。

特別会計名	予算現額	収入		支出	
		収入済額	収入率	支出済額	執行率
国民健康保険事業	6億453万円	2億4,164万円	40.0%	2億4,833万円	41.1%
介護保険事業	6億5,742万円	2億5,878万円	39.4%	2億6,042万円	39.6%
介護サービス事業	4,720万円	0万円	0.0%	2,283万円	48.4%
後期高齢者医療	1億4,120万円	5,217万円	36.9%	4,175万円	29.6%

公営企業会計

公営企業会計は、事業収入を主な財源として独立採算により特定の事業を経理するものです。厚真町は簡易水道事業と下水道事業が該当します。企業活動を正確に把握するため、複式簿記を採用しています。

事業名		予算現額	収入		支出	
			収入済額	収入率	支出済額	執行率
簡易水道事業	収益的収入	4億366万円	2億7,442万円	68.0%		
	収益的支出	4億6,406万円			2億1,064万円	45.4%
	資本的収入	3億362万円	4,340万円	14.3%		
	資本的支出	4億3,340万円			1億8,933万円	43.7%
下水道事業	収益的収入	2億2,494万円	1億3,569万円	60.3%		
	収益的支出	2億2,494万円			8,679万円	38.6%
	資本的収入	2億9,792万円	14万円	0.0%		
	資本的支出	3億4,181万円			5,142万円	15.0%

町債（地方債）

国などから借り入れた長期間の借入金です。

区分	金額
一般	129億499万円
簡易水道事業	45億1,721万円
公共下水道事業	8億1,070万円
合計	182億3,290万円

一時借入金

一時的に金融機関から借り入れて支払いに充てるお金です。

区分	金額
一般会計	なし
特別会計	なし
公営企業会計	なし

財産

出資による権利、債権、土地・建物のほかに、特定の目的のために準備しておく元手の資金をいう基金があります。

区分	金額
出資による権利	1億8,646万円
債権	1億1,663万円
基金	82億1,969万円
土地	2,534万7,277㎡
建物	9万6,196㎡

町民1人・1世帯あたりの比較

※令和８年９月末の人口・世帯数で算出

		合計	町民1人あたり（4,242人）	1世帯あたり（2,195世帯）
予算（一般会計＋特別会計）		165億2,627万円	390万円	753万円
町債（地方債）		182億3,290万円	430万円	831万円
財産	出資による権利・債権・基金	85億1,978万円	200万円	388万円
	土地	2,534万7,277㎡	5,975㎡	1万1,547㎡
	建物	9万6,196㎡	22㎡	43㎡

下水道不明水対策について

建設課 土木・上下水道グループ　☎ 27-2326

町では、下水道の不明水対策を進めています。町民の方のご協力をお願いします。

下水道不明水とは

汚水(し尿および生活雑排水)のみを処理する下水道処理施設に、何らかの原因で雨水や地下水などが流入することをいいます。
主に、下水道管の老朽化でできたひびや隙間、マンホール蓋の破損部分などからの流入、各家庭の汚水管の破損部分などからの流入や雨水管の誤接続などが考えられます。


正常な汚水管点検口


蓋が開いている


破損している


地中で折損している

町民の方へのお願い

①宅地内の汚水ますや汚水管に破損がないかご確認ください。
宅地内の汚水管などは所有者(家主など)の責任において適切な維持管理を行うこととしていますので、異常が見受けられましたら、速やかに修理等をお願いします。
なお、破損カ所からの雨水や土砂の流入などにより、管が詰まってトイレ等が使用できなくなることがあります。修理などでお困りの方は町で定めた指定工事店へご相談ください。

指定工事者の一覧▷
(町ホームページ)

②宅地内の雨水や屋根からの雨どいの雨水を汚水管に流していないかご確認ください。
誤って流している場合は、速やかに改善をお願いします。

安平・厚真行政事務組合からのお知らせ

安平・厚真行政事務組合　☎ 22-3151
住民課 町民生活グループ　☎ 26-7871
(総合ケアセンターゆくり内)

せん定枝の回収について

11月末日でせん定枝の無料回収が終了します。
12月から３月末までは有料です。

※12月から３月末までは期間中はもやせるごみ用の有料指定袋（ピンク色）を枝に直接巻き付けて、火曜日にごみステーション横に出してください。
※じん芥処理場に自己搬入する場合も、もやせるごみとして有料となります。

年末年始のごみ収集について

12月30日(水)～１月３日(日)は
ごみ収集を行いません。

※じん芥処理場も休業します。
※１月４日(月)から通常どおり収集を再開します。



私有地への無断立入り・通り抜けはやめましょう

住民課 町民生活グループ　☎ 26-7871
(総合ケアセンターゆくり内)

私有地への立ち入りは法的問題に発展する恐れがあります。

所有者等の承諾なく私有地に立ち入ることや近道として通り抜けること、住宅周辺に長時間滞在することは居住者に大きな不安を与え、近隣トラブルや場合によっては法的問題に発展する恐れがあります。
他人の敷地には無断で立ち入らず、地域の皆さんが安心して生活できるよう、お互いに配慮しましょう。

緊急時は110番、
防犯相談などは
警察相談専用電話「#9110」へ
ご相談ください。

年末のパスポート発行

住民課 町民生活グループ　☎ 26-7871
(総合ケアセンターゆくり内)

パスポートの年内受け取りは早めの申請をお願いします。

パスポート(旅券)の年内受け取りを希望する方は、次の期日までに申請手続きを済ませるようお願いします。
申請書に不備がある場合などは、年内に旅券の受け取りができないこともあります。年末年始に旅行を計画される方は、早めの申請をお願いします。
また、オンラインによる申請は、内容確認に時間をいただくことがあり、窓口での申請よりも日数がかかる場合があります。

年内の受け取り

12月29日(火)まで
※12月30日(水)から１月４日(月)までは閉庁

年内受け取りの申請期日

12月８日(火)16時30分まで
※オンラインの場合は、上記期日までに審査完了したもののみ、年内の受け取りができます。

国民健康保険の手続きはお早めに

住民課 町民生活グループ　☎ 26-7871
(総合ケアセンターゆくり内)

国民健康保険の加入・脱退手続きは、必ず14日以内に行ってください。

国民健康保険に加入、または脱退するときは、必ず14日以内に手続きを行ってください。正当な理由なく届け出が遅れると、加入の届け出の前日までの医療費が原則全額自己負担になったり、脱退の届け出までの保険料の変更(減額)ができない場合があります。
※同居するご家族以外の方の申請には、委任状が必要です。

脱退の届け出が必要な場合	必要なもの
厚真町外に転出した	・資格確認書または資格情報のお知らせ
社会保険などほかの保険に入った※ 家族の保険の被扶養者になった※	・資格確認書または資格情報のお知らせ ・新しい資格確認書または健康保険資格取得証明書
生活保護の受給を開始した	・資格確認書または資格情報のお知らせ ・生活保護開始決定通知書
死亡し、葬祭費の申請をする	・資格確認書または資格情報のお知らせ ・喪主の氏名が確認できるもの(会葬礼状はがきなど) ・喪主名義の口座が確認できるもの

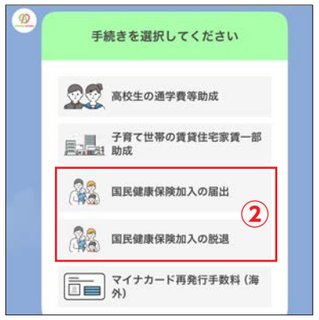
加入の届け出が必要な場合	必要なもの
退職により社会保険などほかの保険をやめた※ 家族の扶養から抜けた※	・社会保険等資格喪失証明書 (退職した職場もしくは社会保険事務所から発行されます)

※のついている手続きは、町公式LINEよりオンライン申請ができます。





〔操作手順〕
①メニューの各種申請
②国民健康保険加入の届出（脱退）



町公式LINE
登録は
こちらから

お花を並べて楽しむ冬のプランター講習会

コミュニティ運動推進協議会事務局　☎27-3179
（まちづくり推進課 企画調整グループ）

オリジナルのプランターを作ります。彩り豊かな花で、心を癒してみませんか？

- **日　時**　12月17日（木）　13時30分～
- **会　場**　総合福祉センター大集会室
- **講　師**　梅原智哉氏（梅原商店）
- **内　容**　家庭で手軽に楽しめる花や植物のプランター講習
- **定　員**　25人　※先着順
- **参加費**　2,000円
- **持ち物**　シャベル、軍手
- **申し込み**　11月16日（月）から
  電話でお申込みください

※ガーデニング講習会から名称を変更しました。

在宅高齢者介護休養手当

住民課 福祉グループ　☎26-7872
（総合ケアセンターゆくり内）

自宅で介護されている方に介護休養手当を支給しています。

対象者

要介護認定３以上の認定を受けている家族を、同居かつ無報酬で日常生活を中心的に介護している方

支給額

月額１万円

支給対象期間

	第１回	第２回
令和８年度	４月～９月分	10月～翌年３月分
令和９年度以降	１月～６月分	７月～12月分

※令和９年度から対象期間を変更するため、経過措置として、令和９年１月～3月分は、令和８年度第２回分として支給します。

申請締め切り

11月28日（土）まで

申請に必要なもの

- 申請書
  （住民課福祉グループ窓口または町ホームページからダウンロード可）
- 口座確認のための通帳
- 介護保険被保険者証（写し）
- 介護者の住所が確認できるもの



厚真町で暮らす・働く女性の「これから」に関するアンケート

まちづくり推進課 政策推進グループ
☎27-3179

町は、女性一人ひとりが自分らしく挑戦でき、生き生き暮らせる環境づくりを進めています。

皆さんの率直な意見などを把握し、今後の施策に活かすため、暮らしや仕事、これからの働き方についてリアルな声や考えをお聞かせください。

アンケート専用フォーム
スマートフォンなどからアクセスして回答してください。

対　象

厚真町内に居住または勤務する18歳以上の女性

回答方法

専用フォーム（Google フォーム）
※所要時間は５分程度です

回答期限

11月30日（月）

個人情報について

この回答では個人情報を収集しません。収集した情報は、今後のまちづくりにかかわる事業の検討に使用します。

厚真産ハスカップのビネガーが完成

町内のサテライトオフィスにオフィスを構える北海道クラフトビネガー株式会社（本社・新ひだか町）は、本年度収穫した厚真産ハスカップのビネガー「SUNOMO〈ハスカップ〉」を完成させ、９月14日に宮坂町長に報告しました。

「日本一のハスカップのまち」に新たな付加価値を加えようという取り組みで、ハスカップ農家の山口善紀さんが協力し、一部町民が収穫したハスカップも原料にして、地域おこし協力隊の渡辺英人さんが商品化しました。ハスカップを酢酸発酵させたフルーツビネガー（飲むお酢）で、希釈タイプと原液タイプの２種類を作りました。同社のオンラインショップで販売しています。

宮坂町長は「苦手な方でも抵抗感なく飲めるおいしい酢ですね。全国の皆さんに厚真産ハスカップを知っていただきたい」と太鼓判を押しました。渡辺さんは「産地とのつながりを感じる特別な“ハスカップヌーボー”となりました。今後は、ビネガー製造のほか、熟成にも挑戦したい」と語りました。



商品を手にする山口さん（左）と渡辺さん（右）

小金澤組に地域貢献で感謝状贈呈



感謝状を手にする椎名専務取締役（中央）と
中山明仁土木工事主任

町は９月17日、地域貢献に尽力した小金澤組に感謝状を贈りました。

同社は、８月17日から21日にかけて、上厚真小学校駐車場の区画線（白線）やサッカーゴールの塗装に加え、百葉箱の取替工事を行い、教育環境の整備に協力されました。

椎名心専務取締役は「引き続き協力できるようにがんばりたい」と話しました。

プロ・アイスホッケーのレッドイーグルス北海道がユニフォーム寄贈

プロ・アイスホッケーチームの（株）レッドイーグルス北海道（本拠地・苫小牧市）の飯塚靖代表取締役社長らが９月17日に町を訪れ、ホーム用のユニフォームを宮坂町長に贈りました。

訪れたのは、飯塚社長のほか小川勝也監督、ディフェンダーの武部大輝選手。フォワードの主力選手が着ることが多い背番号「10」と「MIYASAKA」の名前入りユニフォームが、武部選手から贈られました。武部選手は「リーグ戦の連覇と、オリンピック出場を目指して頑張ります」と健闘を誓いました。



ユニフォームを広げて記念撮影に臨む小川監督、
武部選手（左から）、飯塚社長（右）

まちの話題

町が４人に君の椅子などを贈呈



椅子に座って記念撮影するお子さんとご家族

町は9月17日、町内４人のお子さんに君の椅子などを贈りました。

旭川市の家具職人手作りの君の椅子プロジェクトは今年で20年を迎え、道内外の13自治体が参加しています。名前やシリアルナンバーなどが刻まれた椅子のほか、町内の木工作家によるお食い初めセットと歯固めのおもちゃ「森の輪」がプレゼントされ、最後に全員で記念写真を撮影しました。

和やかムードで敬老会開く

令和８年度厚真町敬老会が９月18日、町総合福祉センターで開かれ、対象となる704人のうち198人が出席しました。

宮坂町長は「秋の実りに感謝し、地域に足を運んで出来秋を楽しんでください」とあいさつし、渡部議長が「皆さんがこれまで築いてこられた足跡を道しるべとして、これからもしっかり歩んでまいります」と祝辞を述べました。引き続き、出席した米寿の方に祝い金の目録、90歳以上の方に記念品をそれぞれ贈呈しました。時間が許す限り飲食を介しながら会話を弾ませ、吟舞や町民吹奏楽団の演奏を楽しみました。



198人が懇親を深めた敬老会

藤澤政義さん（共和）に百寿の祝い品を贈る



家族と一緒に記念撮影する藤澤さん

町は９月18日、共和に住む藤澤政義さんに百寿の祝い品を届けました。

恵庭市出身の藤澤さんは、６人兄弟の長男で、昭和26年に妻の故・千枝子さんと結婚して４人のお子さんを育てました。孫とひ孫を含めると約40人の大家族です。健康づくりでストレッチを続けています。記念品を受け取った藤澤さんは「ありがとうございます」と何度も頭を下げて感謝しました。

役場新庁舎と文化交流施設建設工事の安全祈願祭

役場新庁舎と文化交流施設建設工事を受注したコンソーシアム（共同事業体）は９月26日、工事中の安全や無事故を祈願する安全祈願祭を行いました。

神事には、町長や議長、工事関係者など約40人が出席し、鍬入れなど地鎮の儀などが行われました。宮坂町長は「厚真町の町民の安寧と未来を育てるのも役場庁舎の大きな使命です。環境と調和した施設を目指していただきたい」と話しました。当日は、両施設のイメージパースも紹介されました。



地鎮の儀で鍬入れを見守る参加者

自ら仕込んだ厚真産米の「どぶろく」新たな特産品に期待

起業型地域おこし協力隊の高橋ゆいさんは、厚真産の米で仕込んだ「どぶろく」を10月５日に宮坂町長に紹介しました。

発酵文化に関心を抱く高橋さんは、「原料の米がどこから来て、どのようなお酒になるのかという物語を伝えたい」と、どぶろく造りに挑戦しています。淡路島でどぶろくだけを造る蔵元に出向き、高橋さんが仕込みました。生の米を乳酸発酵させ、香ばしさと豊かな酸味が広がるアルコール度数13度のどぶろくに仕上がりました。12月からは、飲みやすいアルコール度数６度のどぶろくも造る予定です。

酒類販売免許も取得する予定で、厚真町の新たな特産品として令和９年度から本格的に「THEBLOCK」（ザブロック）のブランド名で販売を計画しています。試飲した宮坂町長は「体に良い麹菌が多く含まれていて、人気が出そうですね」と話し、高橋さんは「厚真産ななつぼしをメインに使ってどぶろくを造っていきたい」と熱く語りました。



自ら仕込んだどぶろくを紹介する高橋さん



青空の下で植樹に汗を流す参加者の皆さん

幌内地区で「厚真町さくら植樹会」

青空が広がった10月10日、幌内地区で厚真町と公益財団法人イオン環境財団による「厚真町さくら植樹会」が開かれ、町民25人を含む約200人が参加しました。

平成27年から続く活動で、本郷・幌内の両地区に今回を含めて3000本以上のエゾヤマザクラを植樹してきました。斜面に広がる桜の木が開花すると、一大景勝地になることが想像できます。参加者たちは、スコップ片手に斜面に繰り出し、木の成長と桜の開花を願って丁寧に苗木を植えました。

宮坂町長は「景勝地として復活することを願っています。ここに来たことをご縁に、これからも町を応援してください」と話しました。

とまこまい広域農業協同組合が新米を寄贈

とまこまい広域農業協同組合（堀弘幸代表理事組合長）は10月13日、町に新米を寄贈しました。

寄贈したのは、厚真産のブランド米「さくら米（ななつぼし）」の新米50kgです。堀組合長のほか、理事の松原正明さんと堀田昌意さんが町長室に届けました。堀組合長は「タンパク質が低めで粘りがあり、例年以上に非常に美味しいお米ができました」と話しました。新米は、こども園２園と小・中学校４校、高校の給食で提供されます。



新米を寄贈した松原さん、堀田さん、堀さん（左から）

AZUKO Information

厚高インフォ

Vol.323

学校の取り組みは
ホームページでも！

■北海道高体連陸上競技大会（9月16日～18日）

令和8年度北海道高体連陸上競技大会が、函館市（函館どつくスポーツガーデン）で開かれ、陸上・投てき競技で好成績を収めました。男子やり投げの赤﨑蓮さんが1位（63・89m）、男子ハンマー投げの幅田雄心さんが大会記録で1位（52・04m）、男子円盤投げの大垣成示さんが1位（45・40m）、赤﨑蓮さんが2位でした。今後の活躍が楽しみです。

■全校強歩大会（9月18日）

全校生が、全行程13・7kmに挑みました。開会式では、佐藤校長が完走に向けて生徒を激励しました。関係者の皆さまのご協力で、素晴らしい大会になりました。



■全国優勝した大垣尊良さんに町民栄誉賞を授与（10月5日）

全校生が見守る中、全国高校総体陸上競技（8月、滋賀県）で、砲丸投げ2連覇と円盤投げで優勝し、最優秀選手賞を受賞した大垣尊良さんに、厚真町教育委員会から町民栄誉賞と栄誉賞が贈られました。

■生徒会役員認証式など行う（10月5日）

佐藤校長が、新しい生徒会役員に認証状を贈りました。新役員は、生徒会長の齊藤さん（2年）、副会長の吉川さん（2年）、書記の沖津さん（2年）と竹田花隣（かりん）さん（1年）、会計の蹴揚さん（2年）、議長の矢部さん（2年）、監査の竹田花憐（かれん）さん（1年）と藤村さん（1年）です。また、各種検定の取得者と、支部高文連美術展で優秀な成績を収めた八田さん（3年）、中野さん（3年）、川﨑さん（2年）の3人と競歩大会の上位入賞者を表彰しました。

■屋外体育大会（10月8日）

本校グラウンドで屋外体育大会を開きました。秋晴れの下でソフトボールや玉入れ、障害物走、綱引き、リレーを実施し、生徒は熱戦を繰り広げました。結果は、3年生が圧勝し、エキシビジョンマッチで教職員チームとソフトボールで対戦しました。学年の枠を超えたスポーツの祭典となりました。

■中学生体験入学（10月9日）

今年度は、中学生44人と教職員5人が参加しました。パンフレットを使って学校や学校行事を紹介し、授業を体験しました。本校への入学希望者が増えることを願っています。



よりみち通信

「よりみち学舎」は厚真高校と地域が連携しながら放課後を利用して生徒が自ら目標を発見し挑戦する公営塾です。

「やってみたい」をカタチに

厚高生の「バスケットボールがしたい」という声をきっかけに、よりみち学舎では９月13日に町スポーツセンターでバスケットボール大会を開催しました。大学生６人、町民２人、厚高生２人、公営塾スタッフ３人の計13人が参加しました。

はじめは参加者同士の会話が少なかったものの、一緒に楽しむうちに、時間と共に会話が増えていきました。バスケットボールに関することだけではなく、普段の生活についての何気ない会話へと広がり、人と人との距離が縮まっていく様子が印象的でした。

今大会の特徴は、高校生の「やってみたい」という思いから企画が生まれ、実際の開催につながったことです。大学生や地域の社会人など、普段の学校生活では接する機会の少ない人たちと交流する場となりました。

自分の興味や関心を言葉にし、それが実際の活動として形になる。さらに、そこから新しい人との出会いが生まれる。今回の大会は、そんな可能性を感じられる機会となりました。生徒の何気ないひと言ですが、周囲の人と一緒に考え、行動することで、地域の新しい活動へと発展していきます。

よりみち学舎では、学習支援だけでなく、生徒たちの興味や関心、「やってみたい」という気持ちも大切にしています。一人ひとりの声を出発点に、人との出会いや新しい挑戦が生まれる居場所づくりを進めます。

教育魅力化支援員　藤川巧



一瞬に懸ける熱いプレー

地域おこし協力隊

厚真町で活動している地域おこし協力隊をご紹介！

現在活動している協力隊〈10月末現在〉

農業▷９人　漁業▷1人　研究型▷1人　起業型▷10人
教育魅力化▷２人　協働型▷3人　スポーツ▷1人

協働型農業支援員
所属：株式会社小泉農場

野口（のぐち） 優剛（ゆうご）さん

着任：令和８年４月（１年目）
出身：苫小牧市



―これまでの経歴について教えてください。

苫小牧工業高校の環境科学科を卒業後、航空自衛隊に入隊しました。幼いころ、厚真町に住む祖母の家でビニールハウスや畑仕事を手伝った経験から農業に興味があり、当初から「21歳になったら農業を始めよう」と決めていました。そのため自衛隊は最初の任期の３年間と決め、千歳基地で車両整備などの業務に携わりながら過ごしました。任期満了後に、厚真町に移住して農業の道へ進むことにしました。

―なぜ、株式会社小泉農場に入社したのですか？

高校生の時から新規就農を考えていましたが、実務経験のない状態からの独立はハードルが高いと感じていました。私の父と小泉農場の社長が高校の同級生だったご縁で、相談する機会をいただきました。社長から「独立もいいけれど、まずはうちで技術や知識を磨き、生活の土台を固めてからでも遅くない」と助言をいただき、社員として経験を積むことを決意しました。

―どのような会社ですか？その中での役割は？

小麦や米、大豆、小豆、ジャガイモなど幅広く栽培しています。大型トラクターやドローンなどのIT技術を積極的に導入しており、作業効率化を進めているのが特徴です。現在、私は社員としてトラクターでの耕起作業やドローンを使った農薬散布、収穫・運搬、機器の整備など、農作業全般を担当しています。前職の自衛隊で培った車両整備の経験も機械のメンテナンス等で役立っています。

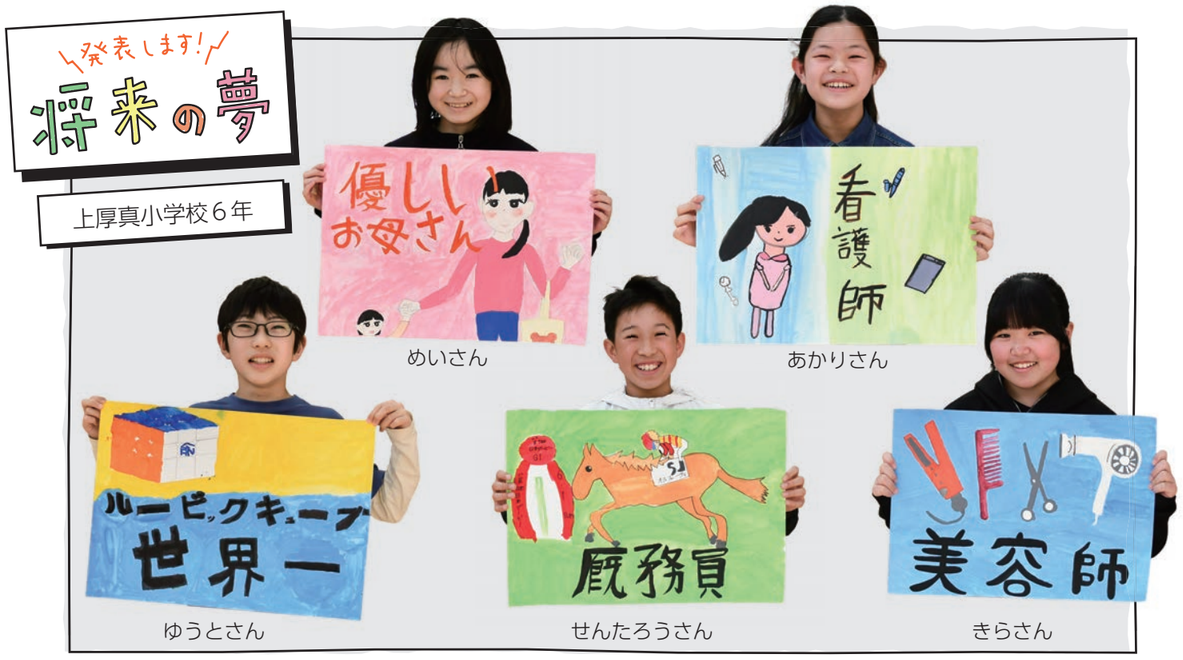
―今後の目標を教えてください。

まずは日々の作業に受け身にならず、自分で状況を判断して動けるようになることが第一の目標です。天候に合わせた作業計画の立案や判断力を社長から学び、会社の成長に貢献したいと思っています。また、自分のように「農業を始めたいけれど独立は不安」という人に、地域おこし協力隊制度の活用や、雇用就農といった形でも夢は叶うということを示していきたいです。将来は会社を支える中心的な存在になれるよう、農業人として、また、人として成長していきたいです。

厚真町は、町民や移住を考えている人などのチャレンジをみんなで応援していけるまちを目指します。「厚真町チャレンジ応援通信」は、さまざまなチャレンジの情報を発信していきます。

発表します！ 将来の夢

上厚真小学校６年



保健の掲示板 12月

住民課 健康推進グループ　☎26-7871（総合ケアセンターゆくり内）

健診・検診・相談・教室など

①1歳6カ月児健診　②3歳児健診

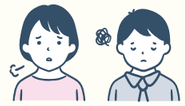
対　象	①令和7年3月31日～令和7年6月2日生まれ ②令和5年10月1日～令和5年12月2日生まれ
と　き	12月2日(水)　※個別に案内
ところ	総合福祉センター
持ち物	母子健康手帳、歯の健康ノート バスタオル、歯ブラシ、アンケート 早朝尿(②のみ)

①ニューママ教室　②プレママ教室

対　象	①産後2～6カ月のママとお子さん ②現在妊娠中の方(妊娠12週未満の方、臨月の方は要相談)
と　き	12月11日（金） ①9時30分～10時30分 ※子どもの計測を希望の方は9時～9時30分に来場 ②10時45分～11時45分
ところ	厚真子育て支援センター
持ち物	①母子健康手帳、バスタオル、ベビーオイルやベビークリーム ②母子健康手帳

こころの相談

心身ともに、こんな変化はありませんか？



・眠れない
・人の視線が気になる
・人に会いたくない
・以前よりイライラする
・何事にも集中できない
・日常生活に支障が出るほどお酒を飲む　など

ストレスなどからくるこころの危険信号かもしれません。
臨床心理士が、本人やご家族のこころの健康や子育ての悩みを抱える親御さんの相談に応じます。
一人で抱え込まずに、ぜひご相談ください。

と　き	11月20日(金)、12月18日(金) 10時～15時(1人あたり50分程度)
ところ	総合ケアセンターゆくり
申し込み	3日前までに健康推進グループにお申し込みください。

保健所の相談

問い合わせ　苫小牧保健所 ☎0144-34-4168

相談・検査の名称	日程
女性の健康相談 妊娠、出産、子育てなど女性の心身の相談	第1木曜日 ※休日の場合は第2木曜日
肝炎ウィルス検査・梅毒検査 感染が疑われる方は無料(要事前確認)	月2回
骨髄バンク登録 登録の基準があります	要事前予約(随時受付)
HTLV－1抗体検査 10日前までに予約してください	要事前予約(随時受付)
HIV検査(エイズ相談) 無料、匿名検査(要事前確認)	月2回

エイズ専用電話☎0144-35-7474

12月の夜間・日曜・祝日の医療機関

内科・小児科系

苫小牧市夜間休日急病センター

住　所	苫小牧市旭町2-9-2
電　話	0144-32-0099
診療時間	平　日 19時～翌朝7時 土曜日 14時～翌朝7時 日曜祝日 9時～翌朝7時

外科系

診療時間：9時～17時

日程	病院名	住所(苫小牧市)	電話(0144)
6日(日)	にっしん泌尿器科クリニック	日新町2-6-43	71-1100
13日(日)	同樹会苫小牧病院	新中野町3-9-10	36-1221
20日(日)	苫小牧日翔病院	矢代町2-9-13	72-7000
27日(日)	みらい整形ペインクリニック	北栄町1-22-43	53-7100
31日(木)	苫小牧消化器外科	北栄町3-5-1	51-6655

※変更になる場合があります。病院や新聞などで事前に確認してください。

北海道救急医療・広域災害情報システム
近くの医療機関などが検索できます
http://www.qq.pref.hokkaido.jp　☎0120-20-8699　☎011-221-8699(携帯・PHSから)

こどもの予防接種

接種日	未就学児	水曜日	14時～15時（この時間は一般診療休み）
	小学生～19歳	月・金曜日	9時～12時、14時～17時
		水曜日	9時～12時、15時～17時
予約/受付 接種場所	あつまクリニック　☎ 27-2422　京町15 前の週の金曜日までに予約が必要です〈予約受付時間：9時～12時、15時～17時〉		
持ち物	母子健康手帳、予診票		

予防接種専用サイト

予約時は、予防接種専用サイトで接種対象であるかどうかを確認してください。専用サイトと母子健康手帳の接種履歴に相違がある場合などは、住民課健康推進グループ（保健師）までご連絡ください。

	対象者	標準的な接種期間と回数
ロタウイルス（1価）	生後6～24週未満	27日以上あけて2回　※1回目は14週6日までに接種
B型肝炎	生後2カ月～1歳未満	(初回)27日以上あけて2回 (追加)1回目終了後から20週以上あけて1回
ヒブ(※1)	生後2～60カ月未満	(初回)生後2～7カ月未満(27日以上あけて3回) (追加)初回後7～13カ月あけて1回
小児肺炎球菌	生後2～60カ月未満	(初回)生後2～7カ月未満(27日以上あけて3回) (追加)生後12～15カ月未満(初回後60日以上あけて1回)
五種混合 (ジフテリア・破傷風・百日咳・ポリオ・ヒブ)	生後2～90カ月未満	(初回)生後2～7カ月未満に、20～56日あけて3回 (追加)初回6～18カ月あけて1回
二種混合 (ジフテリア・破傷風)	11～13歳未満	11歳で1回
BCG	生後5カ月～1歳未満	生後5～8カ月未満に1回
MR混合 (麻しん・風しん)	(1期)生後12～24カ月まで (2期)年長児相当(就学前の1年間)	1期、2期ともに1回
水痘（水ぼうそう）	生後12～36カ月未満 ※すでに罹患済みの場合は対象外	(初回)生後12～15カ月未満に1回 (追加)初回後6～12カ月あけて1回
おたふくかぜ（任意）	1歳以上 ※すでに罹患済みの場合は対象外	1歳以上で1～2回 ※町独自の助成により1～3歳までの初回1回のみ無料
日本脳炎	(1期)生後6カ月～7歳6カ月未満 (2期)9～13歳未満 ※特例対象者は20歳未満まで接種可	(1期初回)3歳：6～28日あけて2回 (1期追加)4歳：1期初回終了後約1年あけて1回 (2　　期)9歳：1回
HPV (ヒトパピローマウイルス) (9価)	小学校6年生～高校1年生相当の女子	中学1年生(6カ月あけて2回) ※1回目の接種が15歳を超えた場合は3回 (2カ月以上あけて2回接種した後、1回目から6カ月以上あけて1回)

(※1) 令和6年3月31日までに接種を開始している方のみ対象。
【注意】四種混合ワクチンは、生産終了に伴い接種できなくなりました。接種機会を逃してしまった方は個別に健康推進グループにご相談ください。

新型コロナワクチンの個別接種

令和9年1月4日から予約制で新型コロナワクチンの個別接種を行います。詳細は町ホームページでご確認ください。

と　き	1月4日(月)～30日(土)
ところ	あつまクリニック
予約受付	12月1日(火)9時開始

〔予約方法〕
①あつまクリニックホームページで予約する
②あつまクリニックに電話で予約する
　☎090-1096-2175 ※1月以降は☎27-2422
③あつまクリニック窓口で直接予約する

あつまクリニックホームページ　町ホームページ

健康情報

住民課 健康推進グループ ☎26-7871
（総合ケアセンターゆくり内）

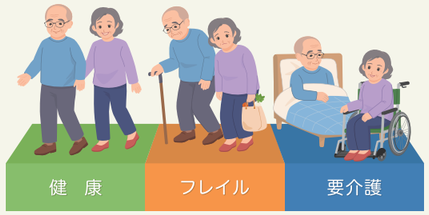


担当
保健師 笹森（ささもり） あゆみ

今月のテーマ

「フレイル」ってなに？
早く気づけば、元気に戻れる！

「こんなちょっとした変化」はありませんか？「歩くスピードが遅くなった気がする」「ペットボトルのキャップが開けにくくなった」「外出るのがおっくうで、家で過ごすことが増えた」…。これらは単なる歳のせいではなく、「フレイル」のサインかもしれません。



そもそも「フレイル」ってなに？

フレイルとは、年齢と共に心身の活力が低下し、「健康」と「要介護（介護が必要な状態）」の中間にいる状態のことです。最大の強みは、早く気づいて対策を講じると、「元の元気な状態に戻れること」です。

成人期（40代・50代）からの予防がカギ！

フレイルは高齢期になって突然、始まる訳ではありません。40～50代からの生活習慣が将来の健康に直結しています。

筋肉の減少は40代から始まります。中年期までは肥満を抑える「メタボ予防」が中心ですが、シニア期に向けて、「減らす（体重制限）」から「しっかり食べて筋肉を維持する体づくりへと意識を切り替えていくこと」が、将来の元気を保つ最大のコツです。

●特定保健指導を積極的に受けましょう

健診結果に基づいて、保健師や管理栄養士が、食事や運動など生活習慣について話を聞かせていただくことがあります。メタボ解消のみならず、一緒に将来のフレイルを遠ざける土台作りをしませんか？

●糖尿病性腎症の重症化を防ごう

高血糖を放置して「糖尿病性腎症」が進行すると、腎不全や人工透析への移行を招き、体力を大きく奪って一気にフレイルを加速させます。血糖値や腎機能の指摘を受けた方は、放置せずに医療機関を受診して治療を継続することが非常に重要です。

今すぐできる！3つの予防アクション

年齢を問わず、今から始められる3つの予防アクションです。

①しっかり食べる（栄養・口腔ケア）

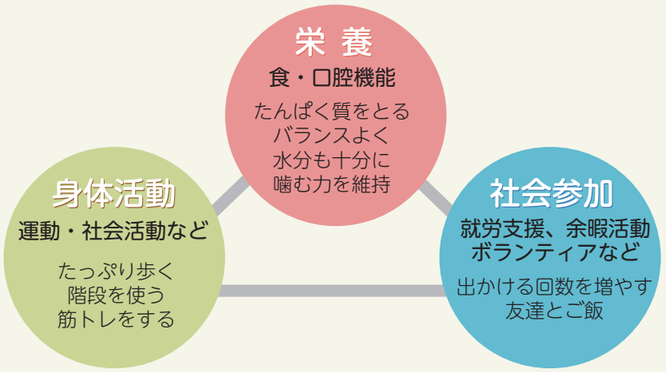
筋肉の元になる「たんぱく質（肉・魚・大豆・卵等）」を意識して取りましょう。よくかんで食べることで、口の機能も維持されます。

②楽しく動く（運動）

特別な筋トレではなく、散歩や買い物、家事、通勤時にちょっとだけ遠回りして歩くなど、日ごろから意識してこまめに体を動かしましょう。

③みんなとつながる（社会参加）

趣味や地域の集まり、ボランティア、仕事など、人と話したり社会と関わる場を一つでも多く持つことが、将来の元気につながります。



全世代で取り組む これからの健康づくり

フレイル予防に「早すぎる」ことも「遅すぎる」こともありません。家族や地域で声をかけ合いながら健診を賢く活用し、ご自身の今と未来の元気のために、できることから一歩ずつ始めましょう。

すくすく教室

すくすく教室は、生後６カ月～１歳６カ月ごろまでのお子さんのいる方を対象に、調理実習や試食、講話、相談を行う教室です。お気軽にご参加ください。

住民課 健康推進グループ☎26-7871
（総合ケアセンターゆくり内）

内容　離乳食の作り方

日　時：12月18日(金)10時30分～12時
場　所：総合ケアセンターゆくり２階調理実習室
持ち物：エプロン、三角巾、飲み物、手口ふき
　　こども用スプーンとフォークと、抱っこひも
参加費：無料
定　員：６組
申し込み：12月８日(火)まで



厚真町食生活改善推進協議会主催

おやこDEクッキング

おにぎり、クラムチャウダー、スノーボールクッキーを作ります。



日　時：12月12日(土)　10時30分～13時
場　所：総合ケアセンターゆくり２階調理実習室
対　象：小学生とその保護者
　　※兄弟、祖父母との参加も可能です。
定　員：８組
持ち物：エプロン、三角巾、上靴
　　※お子さんには三角巾をプレゼントします。
参加費：無料
申し込み：12月３日(木)まで
　　住民課 健康推進グループ☎26-7871

まちのアイドル





３歳のお子さんの写真を募集しています。住所、氏名(ふりがな)、生年月日、性別、両親の氏名(ふりがな)、電話番号を明記の上、まちづくり推進課企画調整グループへ。
〈メール〉kikaku@town.atsuma.lg.jp

子育て支援センター

12月のよてい

申し込み・問い合わせ・予約・相談
厚真子育て支援センター ☎27－2438　京町152(こども園つみきに併設)
厚南子育て支援センター ☎28－3155　上厚真258-7(宮の森こども園に併設)
※講座などの申し込みは会場となる子育て支援センターまで

子育て講座　保湿クリーム作り
内　容：親子で使える保湿クリームの作り方を学びます
日　時：12月10日(木)　10時～11時
場　所：厚南子育て支援センター　**参加費**：500円
申し込み：12月3日(木)まで

子育て講座　ハイハイ・よちよち期の部屋づくり
内　容：事故を防いで「ぐっすり睡眠＆のびのびあそぶ」環境のコツ
日　時：12月22日(火)　10時～11時
場　所：厚真子育て支援センター　**申し込み**：12月21日(月)まで

地域子育て相談機関
月曜～金曜日 15時～17時(要予約)
皆さんの子育てに
親身に寄り添いサポートします。
困った時は一人で悩まず、ご相談ください。
LINEで予約

●**自由開放**…月曜～金曜日９時～12時/13時～15時　●**サークル活動**(予約制)…月曜～金曜日　13時～15時



防災のページ

問い合わせ　総務課 情報防災グループ ☎27-2481

北海道・三陸沖後発地震注意情報について

昨年12月９日未明に、初めて「北海道・三陸沖後発地震注意情報」が発表されてから、間もなく１年を迎えます。危機意識を共有するため、改めて「北海道・三陸沖後発地震注意情報」について説明します。

どんな情報？

日本海溝・千島海溝沿いの領域では、Mw(モーメントマグニチュード)７クラス以上の地震が発生した後に、さらに大きなMw８クラス以上の地震が発生する可能性があります。

平成23年には、三陸沖でMw7.3の地震が発生し、その２日後にMw9.0の巨大地震「東北地方太平洋沖地震」が起きました。

日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震の想定震源域とその周辺でMw７以上の地震が発生した場合には、「北海道・三陸沖後発地震注意情報」が発信され、後発地震への注意・警戒を促します。

発表されたら

「北海道・三陸沖後発地震注意情報」は、平常時と比べて大規模地震発生の可能性が相対的に高まっていることをお知らせするものです。特定の期間中に大規模地震が必ず発生するということをお知らせするものではありません。

このため、「北海道・三陸沖後発地震注意情報」が発表された場合は、地震への備えを再確認しながらすぐに逃げられるように努め、緊急情報の取得や非常持ち出し品を常時携行するなど、想定されるリスクから身の安全を確保しながら、社会経済活動を継続してください。

住宅用火災警報器を設置しましょう



住宅用火災警報器の設置は、消防法で義務づけられています。町内の設置率は９月末時点で全世帯数の93.0％です。胆振東部消防組合消防署厚真支署は、未設置の住宅への普及・促進の取り組みとして、厚真町に居住する65歳以上のみの世帯を対象に、住宅用火災警報器取付費用給付事業を実施しています。

問い合わせ　胆振東部消防組合消防署厚真支署　☎26-7119

「冬目前、冬期間の火災予防について」

冬期間は、ストーブなどの暖房器具を使用する機会が増えると共に空気が乾燥し、火災が発生しやすくなります。火災予防のために、ストーブの周囲には燃えやすい物を置かず、給油は必ず火を消して行ってください。また、コンロの使用中は火のそばを離れず、日ごろからコンセントや電気配線の点検・清掃をしましょう。

ストーブ使用時の注意点

- ●着火中にカートリッジなどを抜き差しせず、必ず「消火」してから給油してください。
- ●熱で引火する恐れがあるため、ストーブの周りに燃えやすい物を置かないでください。
- ●油漏れを防ぐため、カートリッジタンクのふたは確実に閉めてください。
- ●就寝中のつけっぱなしに注意してください。

気象台ノート

急な大雨・雷・竜巻から身を守る

朝は晴れていても、午後には天気が急変し、突然の雷雨となることがあります。これは、大気の状態が不安定となって発達した積乱雲によるものです。

発達した積乱雲がもたらす大雨は、雷を伴い短時間で狭い範囲に激しく降り、降り始めから、わずか10分程度で河川の増水や道路の冠水などの災害になることがあります。

また、雷は、海上や平野部など場所を選ばず発生し、周囲より高い物体に落ちやすい特徴があります。

さらに、竜巻は発達した積乱雲に伴って発生する激しい渦巻きで、漏斗状の雲を伴い短時間に狭い範囲へ集中して甚大な被害をもたらします。



「真っ黒い雲」「雷の音」「急な冷たい風」といった変化は積乱雲が近づいているサインです。屋外では、気象情報をこまめに確認しつつ、空の変化には常に注意を払い、積乱雲が近づくサインを見逃さないことが大切です。気象防災速報（竜巻注意）等の情報が発表されたら、頑丈な建物内に移動するなど、身の安全の確保に努めてください

雨雲の動き（ナウキャスト）

急な大雨・雷・竜巻 ナウキャストの利用と防災

歳末たすけあいチャリティーイベント

チャリティー即売会

物を大切にする環境づくりを目指して開催します。寄付していただいた物品は安価で販売し、即売会での収益金の一部を歳末助け合い募金に寄付します。

- とき　12月1日（火）10時～12時
- ところ　総合福祉センター2階青年室
- 問い合わせ　コミュニティ運動推進協議会事務局（まちづくり推進課企画調整グループ内）☎27−3179

寄付のお願い

衣類、運動用品、台所用品の寄付をお願いします。

※衣類については洗濯してあるもの

※家電用品、家具類など大きくて運びにくいものは不可

◎回収期間　10月26日(月)～11月27日(金)

◎回収場所　地区のコミュニティ推進員のお宅または総合福祉センター

※残った商品の処分に費用がかかるため、精査のうえご協力いただきますようお願いします。

チャリティー演芸大会

町内の文化団体などが歌謡や踊りを披露します。

- とき　12月1日（火）12時～15時30分
- ところ　総合福祉センター大集会室
- 入場料　300円 ※募金券の購入が必要です
- 問い合わせ　厚真町婦人団体協議会（森本）☎27−3170

農業委員会からのお知らせ

インスタグラム はじめました

町農業委員会事務局 ☎27-2409

町農業委員会は、農業の担い手確保に向けた後継者対策事業の情報発信と事業を紹介する公式インスタグラムを開設しました。

厚真町の豊かな農業のリアルな日常や、日々の農作業風景を発信しています。

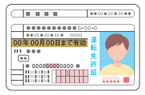
今後は、インスタグラムを窓口として、町内外の「農業体験をしてみたい」「厚真の農業を応援したい」という方々と、地域の農業者を結ぶ仕組みづくりの導入を予定しています。



フォローお願いします！

厚真アグリライフ @atsuma_agri_life

運転免許証更新時講習（12月）



苫小牧市交通安全センターで行っている運転免許証更新時講習（優良）の日程をお知らせします。この他の講習日程（一般、違反、初回）については、下記までお問い合わせください。

〔10時30分～11時〕
3日（木）、4日（金）、7日（月）、8日（火）
11日（金）、14日（月）、17日（木）、21日（月）
22日（火）、24日（木）、28日（月）
〔13時30分～14時〕
2日（水）、10日（木）、15日（火）、25日（金）

（一社）苫小牧地区交通安全協会
☎0144-33-1458

町税・保険料 今月の納期



科目	固定資産税（第3期） 国民健康保険料（第3期） 後期高齢者保険料（第3期）
納期	11月30日（月）

問い合わせ
住民課 税務グループ　☎26－7871
住民課 町民生活グループ☎26－7871

まちの善意



社会福祉協議会への寄付

町職員の人事異動

（ ）は主務、〈 〉は前職、[兼]は兼務、[兼解]は兼務解除

◆異動〔10月1日付〕
・産業経済課主査（農業グループ）[兼]
　▶石間敬悟〈農業委員会事務局〉
・農業委員会事務局主任
　▶斎藤陸〈政策推進グループ〉
・住民課主事（福祉グループ）
　▶奥井宜哉〈農業委員会事務局〉
・建設課主任（都市施設グループ）
　▶山﨑友裕〈庁舎周辺等整備推進室〉[兼解]
・総務課推進員（庁舎周辺等整備推進室）[兼]
　▶下河原幸宏〈都市施設グループ〉
・まちづくり推進課主事（政策推進グループ）
　▶阿部紗亜弥〈福祉グループ〉

人権週間 困りごとなんでも相談所

苫小牧人権擁護委員協議会は、12月4日～10日の人権週間期間中に「人権週間困りごとなんでも特設相談所」を開設します。日常生活の中で、いじめや嫌がらせ、虐待、パートナーからの暴力、セクハラ、パワハラ、インターネット上のプライバシー侵害など、人権に関する問題や相談先が分からないといった困りごとがありましたら、事前に電話予約のうえ遠慮なくご相談ください。相談は無料で、秘密を厳守いたします。

■日時　12月3日（木）13時30分～15時30分
■場所　厚真町総合福祉センター
■相談員　人権擁護委員

■問い合わせ　札幌法務局苫小牧支局総務課（☎0144-34-7151）

「国の教育ローン」のご案内（日本政策金融公庫）

高校、大学等への入学時・在学中にかかる費用を対象とした公的な融資制度です。お子さま1人につき350万円以内を、固定金利（年4・60％※11月2日現在）で利用でき、在学期間内は利息のみのお支払いとすることができます。詳しくは、「国の教育ローン」でインターネット検索していただくか、コールセンターへお問い合わせください。

■問い合わせ　教育ローンコールセンター（ナビダイヤル☎0570-008656または☎03-5321-8656）

自衛官募集

自衛隊札幌地方協力本部苫小牧出張所
☎0144-32-3725

■一般曹候補生
応募資格▶18歳以上33歳未満（32歳は要連絡）
受付期間▶11月20日（金）まで
試験日程▶11月28日（土）～12月6日（日）のうち1日
試験科目▶筆記試験（国語、数学、英語、作文、適性検査）

■2等陸海空士（任期制自衛官）
応募資格▶18歳以上33歳未満（32歳は要連絡）
受付期間▶12月2日（水）
試験日程▶筆記試験（ウェブ試験）：12月7日（月）、8日（火）のうち1日、口述試験・身体検査：12月11日（金）、12日（土）のうち1日
試験科目▶筆記試験（国語、数学、社会、作文、適性検査）

■高等工科学校生徒（推薦）
応募資格▶令和9年4月1日現在で15歳以上17歳未満の男子
受付期間▶11月27日（金）まで
試験日程▶第1次試験：令和9年1月9日（土）～11日（月）のうち1日
試験科目▶学科試験、口述試験、身体検査

■高等工科学校生徒（一般）
応募資格▶令和9年4月1日現在で15歳以上17歳未満の男子
受付期間▶令和9年1月14日（木）まで
試験日程▶第1次試験：令和9年1月23日（土）、24日（日）のうち1日、第2次試験：令和9年2月11日（木）～14日（日）のうち1日
試験科目▶筆記試験（国語、社会、数学、理科、英語）

※受付期間は締切日必着
※試験日程が急に変更になる場合があります。

あつま国際雪上3本引き大会

参加チーム募集!!



厚真の冬の一大イベント「あつま国際雪上3本引き大会」を開催します。
白熱した戦いで皆さまに元気をお届けします。ぜひ観戦にお越しください。
また、大会に参加するチームを募集しています。
お友だちや職場の仲間同士などでチームを作ってご参加ください！

日時：令和9年1月24日（日）競技開始：10時から

場所：かしわ公園野球場（本郷283-1）
人数：1チーム競技者8人～16人
※競技人数…8人
※登録人数…最大16人まで可能
参加費：1チーム10,000円（昼食込み）

申し込み　12月21日（月）までに持参・ファックス・郵送にて申込書を実行委員会に提出してください。

あつま国際雪上3本引き大会実行委員会
京町37番地（町商工会内）
電話：27-2456　ファックス：27-3877

いきいきサポートサロンに参加しませんか？

いきいきサポートサロンは、65歳以上の皆さんの健康増進・介護予防・生きがい活動を行う場所です。バスの待ち合いや、ちょっと寄って知人とお話ししたい時など、自由に利用できます。
月間予定表を見て、参加してみたい活動等がありましたら、お気軽にお越しください。趣味のサークルで利用を希望の方もご連絡ください。また、65歳以下の方もボランティアとして共に活動しませんか？人生の先輩から知恵と技術が学べます。

12月のよてい

月	火	水	木	金
	1	2	3	4
7	8	9	10	11
14	15	16	17	18
21	22	23	24	25
28	29	30	31	

月・木　**介護予防体操〔10時～11時〕**ストレッチ、有酸素運動、脳トレ
担当：高橋／村上／山崎／菅／梶原／藤井
火　**介護予防体操〔10時～11時〕**椅子ヨガなど
担当：板垣
水　**趣味の活動〔13時～15時〕**
金　**ババカフェ〔10時～15時〕**高齢者の皆さん主催のカフェ

厚真町いきいきサポートサロン
京町34　☎29－7535
開放時間▶月曜～金曜日　9時30分～17時
無料水分補給カフェコーナー▶月曜～木曜日9時30分～15時

こぶしの湯 あつま イベントカレンダー 12月

日	月	火	水	木	金	土
		1 2倍 メンズ	2 3倍 高齢者券	3 レディース	4	5
6 3倍 ちびっこ	7 シルバー	8 メンズ	9 高齢者券	10 レディース	11	12 3倍
13 ちびっこ	14 シルバー	15 2倍 メンズ	16 3倍 高齢者券	17 レディース	18	19
20 ちびっこ	21 シルバー	22 3倍 メンズ	23 高齢者券	24 レディース	25 2倍	26 3倍 風呂の日
27 ちびっこ	28 シルバー	29 メンズ	30 高齢者券	31 レストラン休み レディース	1/1	

毎週日曜　ちびっこデー▷小学生はスタンプ2個
毎週月曜　シルバーデー▷65歳以上はポイント3倍
毎週火曜　メンズデー▷男性はスタンプ2個
毎週水曜　高齢者無料入浴券の日▷町交付の無料券利用でレストランのヘルシーセットが990円→800円
毎週木曜　レディースデー▷女性はスタンプ2個
毎月26日　風呂の日▷町民は入浴無料（要身分証明書）
※対象外の方はポイント3倍、スタンプ2個
2と6のつく日　▷ポイント3倍（風呂の日を除く）
5のつく日　▷町交付の無料券利用でポイント5倍

※イベントは予告なく変更することがあります。

年末年始の営業時間

	12月31日（木）	1月1日（金）	1月2日（土）	1月3日（日）
日帰り入浴	10:00~18:00		10:00~20:00	
レストラン	休　業		11:30~14:30 / 17:00~20:00（最終注文30分前）	

問い合わせ　こぶしの湯あつま　☎26-7126

ATSUMA LOVERS

幌内地区では今春、珍しく桜とコブシが同時に開花しました。若草色の木々に囲まれ、ピンクと白の花びらが競演する中、忙しく行き来するトラクターが昨日のことのようです。運転していたのは、4代目農家で7月に厚真町農業委員会会長に就任した高橋宥悦さん。米の収穫が一段落した頃合いを伺い、自宅を訪ねて高橋さんに話を聞きました。



Vol.79

厚真町農業委員会会長
高橋（たかはし） 宥悦（ゆうえつ）さん

“郷土への願いを込めて”

「取材日程を変更して申し訳なかったね」。気遣いがにじみ出た言葉と笑顔で出迎えてくれました。自宅横に広がる田んぼには、今季の役目を終えた手作りの案山子が、スッと立っています。「田んぼのオーナー制度」で協力した田んぼです。今年は、75のオーナー約150人が収穫体験しました。「製品率は高く、今年もおいしい米ができたと思うよ」。資材の高騰や米価の激しい値動きなど、見通しのつきにくい状況が続く中でも「目先に捉われず基本に忠実に」という教えを守り、ブレない農業に徹しています。

家業で忙しい中、地域に根付く「幌内神楽」を伝承し、田舎まつりや地元の秋祭りなどで活動を続けています。また、今年7月には、町議会の選任同意を得て土地の売買や賃貸、さまざまな相談を受ける厚真町農業委員会会長に就任しました。「気は休まらないけど、忙しくても自分の時間は作る」と高橋さん。趣味のドライブは遠のきましたが、好きなアクション系の洋画観賞や山菜取りに出かけるなど、日々の時間を大切にしています。「春は（アイヌ）ネギやフキ、秋は落葉きのこやボリボリ。食べる分だけね」。

町内でお気に入りの場所は、深緑に囲まれ青く澄んだ厚真ダム。最近、楽しみな場所が増えました。整備が始まった新庁舎や文化交流施設です。完成まで、まだ時間がかかりますが、頭の中で厚真の未来を想像しています。郷土への願いが込められました。

「役場機能が集約されて便利になり、町民が集うにぎやかな場所になってほしい」

厚真で暮らす人、働く人、応援してくれる人、訪れる人・・・
みんな、みんな、ATSUMA LOVERS

発行／北海道厚真町
企画・編集／まちづくり推進課企画調整グループ
ホームページ／https://www.town.atsuma.lg.jp/
〒059-1692 北海道勇払郡厚真町京町120番地
電話／(0145)27-2321(代)
メールアドレス／atsuma@town.atsuma.lg.jp